



九二式用油機	五組	五組	通信機
三式用油機	四組	四組	通信機
九二式用油機	八組	八組	通信機
九二式用油機	一組	一組	通信機
九二式用油機	二七六組	一〇〇組	通信機
九二式用油機	三二二組	一〇〇組	通信機
九二式用油機	五組	五組	通信機
九二式用油機	五組	五組	通信機
九二式用油機	一〇組	五組	通信機
九二式用油機	一組	一組	通信機
九二式用油機	二四組	二四組	通信機
九二式用油機	一〇〇組	五〇組	通信機

(英漢辭紙中華)

0016

海軍  
以上

試驗機應用

掃海部。處理場。

昭和二十一年二月一日

總務部長

部長

掃海艦隊第一五四號艦長 隈部五夫

吳地方復員局總務部長 殿

吳地方復員局掃海部長 殿

機銃処分件依頼

昨年十一月五日松山港ニ於テ未軍港務部長ノ押收保管中ノ本艦  
機銃二挺(小銃彈藥ハ未軍ニテ海中投棄処分済)ハ十二月十八日寄  
港ノ際波浪高キ為次回受取ルコトニ約束セルモ本艦吳方面回航ハ  
望薄トナリ且ツ機銃ハ保有出来サルコトナル故同港務部ト折衝  
ノ上処分方御取計ニ相成度

(終)

海軍

0017

手帳表

2月24日  
2月25日  
2月26日

中  
各事係

!

勝

縮

12

行

長

(20-11-22)

在、件、至、急、研究、ノ、ヲ、ト、致、ス

一、首題、共、廠、光、廠、土、空、廠、土、空、廠、施設、部

等、ヲ、豫、存、厚、生、利、用、機、械、類、施設、等、ヲ

調査、シ、将来、國家、復興、産業、部、運、ニ、活、用

ス、ヲ、可、ル、ニ、機、械、施設、等、ノ、詳細、ヲ、ト、シ

及、各、地方、ノ、實、情、ヲ、基、礎、ト、シ、テ、府、ノ、放、入、等、

ノ、況、ノ、中、外、ノ、具、中、ニ、ニ、復、興、産業、及、機、械、

ヲ、調査、画、ス、ル、ニ、ト、ス

二、目的、(一) 諸、工、廠、ノ、國、産、又、ハ、民、業、移、者、ノ、中、外、計、画

ア、ル、ニ、實、情、ノ、基、脚、也、ニ、ト、ス、ハ、ハ、活、ノ、點、ヲ

以、又、中、外、ノ、事、務、適、宜、ノ、取、扱、ニ、ス、ル、ニ

海軍

0018



(2) 又小こしりい 是市ノ橋、之 是路トシテ 是路  
ヲ掛ク 吾以之リ

(3) 又中世が是所の現地調査ヲ 去路合者耐トシテ  
是所の意見同陣ノ由要ニアリ 経テ此ノ際

(4) 機械号具類、施設ノ急進、有効トシ、転送用  
並ニ是等の再配置 再編成ノ基礎調査ノ  
為 首題 研究ヲ 遂ヘ 是ノ人トス

三、調査要領ノ一案

(1) 接收目録ニ就テ、概括、転送用先中ニ至ル所見  
等ヲ 檢點シ 品種別ニ 如何ニ 集積、転送用  
之ニテ 可トスル中ヲ 檢點ス

(2) 是、十一廠 等ヲ 運輸者ニ 移るタルニテ

海軍

差あり不慮ノ有メ

符秀納

内容ノ容易知、孰テハ糸線更ニ地ニ新流用  
ヲ考慮スルニ多クハ、中ノ以テ、更ニ一層個別  
的調査推測ヲ進ムル事

(三) 右調査ニハ、殊ニ為者、ヨリ趣旨ヲ設ルニ為科  
又ハ其礎子ヲ推定セシムル外

(四) 要スルハ、級ニ別シテ、取テリ、時ニ考也、  
之

(五) 又ハ、民島概況ヲ集メ、又ハ、視察セシメ  
或ハ、目下中世ニテ、家画中ノ、福有及キ

官衙ノ、集存ヲ、求ムル等、  
三法ニ、  
高直ノ、方法

海

二軍

0020

(93)

第93号

参謀  
長官

参謀

海軍省軍務局

兵器處理委員會ヲシテ受領セシムベキ物件ノ範圍(案)ニ〇二二一六

一、本委員會ノ受領スベキ物件ハ兵器ニシテ其ノ範圍ハ左記ニ依ル

1 戦車、銃砲、航空機等攻撃的兵器ハ勿論各種整備及基地兵器、其ノ他陸海軍ニ於テ兵器扱ヲ爲シ居レルモノヲ廣ク包含スルモノトス

2 前號兵器ノ部品、附屬品及豫備品並ニ之等ノ半成品其ノ他本兵器ト關聯シテ用ニ供セラ  
ルモノハ之ヲ包含スルコト、從ツテ高壓機軸、ドラム機軸ハ受領ノ範圍内トス

3 自動車、自動車、通信機、土木機械ハ之ヲ除外スルモノトス、但シ右ハ獨立シテ存  
スルモノヲ體ト航空兵器等ノ附屬品トシテノ通信兵器ノ如キハ兵器ニ包含シテ取扱フモノ  
トス

二、原材料及機械施設ハ本委員會ノ受領ノ範圍外トスルモ其ノ取扱ハ左記ノ通トス

1 鉄鋼、鋼材、特殊鋼、ニッケルコバルト、銅、亜鉛其ノ他ノ非金屬等ノ原材料ハ原則ト  
シテ受領ノ際ニ在ラズ、但シ既ニ加工ヲ加ヘタルモノ並ニ層物ハ本委員會ノ受領ノ範圍内  
トス

海軍

1126  
印

0021

工作機械、鑄造機械ニ工廠ノ機械建設ハ受領ノ範圍外トス、但シ工具等ノ消耗品ハ此ノ限  
 ニ在ラズ  
 5 ワイヤリロープ、鐵線、電線、釘、針金等鐵鋼第二次製品ニ付テハ本委員會ノ受領スル兵  
 器ト關聯スルモノハ本委員會ノ受領ノ範圍内トス  
 6 纖維原料、化學藥品、燃料モ原則トシテ受領ノ範圍外トス、但シ兵器ニ關聯シテ存スル者  
 ム、硝子等ニ付テハ前記一ノ原則ニ依リ受領ノ範圍内トス  
 三前記一及三ノ原則ニ拘ラズ本委員會ニ於テ受領スベキ兵器ノ集積個所ニ介在スル物件ニ付テ  
 ハ一括シテ本委員會ニ於テ受領シ其ノ管理下ニ置カシムルモノトス  
 四彈藥ニ付テハ若當リ本委員會ノ受領範圍ヨリ除外ス、但シ聯合軍ヨリ引渡シアル場合ハ此ノ限  
 ニ在ラズ  
 其聯合軍又ハ地方廳ヨリノ要求アル場合ハ前記諸項ニ拘ラズ之ヲ受領スルモノトス  
 備考  
 本受領物件ノ範圍ニ付疑義ヲ生ジタルトキハ地方廳ニ於ケル調査部關係事務取扱機構ノ責任者  
 ニ於テ解決スルモノトス

海軍





之算ヲ受領スル者ハ其ノ人等ヲ日本軍隊ニ依リ引渡サレタ  
ル場所ニ於テ準備スベシ

(ハ)日本帝國政府内務省ハ受領スル物品ノ全部ニ關スル記録ヲ  
保存シ總テノ補給品資料及準備品ノ取扱ノ簡費者ヲモ分明

ナラシムル也其ノ処置ノ明ニスベシ

(ニ)貴政府ニ運送スルモノノ補給品資料及準備品ハ民間救済ノ爲メ  
モリスミテ民間人ノ手ニ食料衣料及住居ノ

ヲ供給スル限着ニ於テ日本民間經濟ノ復興ノ爲ニ充當セラレベ  
キモノナリ

右補給品資料及準備品ノ叙上以外ノ目的ノ爲メ使用ハ明  
白ニ禁止セラル

最高司令官代理副官部高給副官

ハロル下、フエマール中佐

0025



大日本帝國政府

二〇總局第二六六号

昭和二十年十一月十九日

高工次官

豊

田

季



兵器処理委員會委員長

小松 隆 殿

解体兵器等ノ処理機構ニ関スル件

聯合軍ヨリ交付セラレベキ廢兵器ノ解体其他処理ニ関シ別紙ニ依

リ運営セラルルコトニ政府ノ方針決定相成リ候希貴委員會等ノ

運営ニ関シ遺憾ナキヲ期セラレ度ト通知奉々及休復候



二〇 總局 才二八四号

昭和二十年十一月十日

商工省 總務局長

内務省 調査部長

各地方長官 殿

解体兵器等ノ処理様構ニ関スル件

聯合國軍ヨリ交付セラルベキ廢兵器ノ解体其他ノ処理ニ関シ十月五日  
特殊物件処理委員會ニ於テ別紙一ノ通決定相成候如右ニ基キ經  
濟團體聯合委員會渉外部長小松隆氏ヲ委員長トシ民間業者

ヨリ成ル委員會設置セラレ右委員會ノ実行機關トシテ日本鋼管  
日本製鐵、古河電氣、住友金屬及神戸製鋼ノ五社ガ別紙ニ通  
吏々担任ヲ分チ廢兵器ノ受領ニ當ルコトト相成ル事貴官下現在  
會社ト連絡ノ上受領促進方御取計相成度

0027

二〇總品永三八四号

昭和二十年十月十日

内務省 總務局長  
調査部長

各地方行政長官

各地方商工処理部長

解体兵器等、処理機構ニ関スル件

標記ノ件ニ関シ各地方長官宛別紙、通通知致置候条中收

力相成度

0028

別紙

解体兵器等ノ処理機構ニ関スル件

ニ〇、一〇、三一

聯合軍ヨリ交付セラルベキ廢兵器ノ解體其ノ他ノ処理ニ付テモ原則トシテ民間業界ニ其ノ実行ヲ一任スルモノトシ政府トシテハ右実行ヲ援助シ並ニ解体済資材ノ配分本件処理ニ関スル收支等ノ事項ニ関シ所要ノ監督ヲ加フル方針ノ下ニ左記ニ依リ措置スルモノトス

一 解体兵器処理ノ為日本鋼管、日本製鉄、吉河電気、住友金屬、神戶製鋼其ノ他關係民間業者以外ノ者モ参加セシメタル委員会ヲ設置スルコト

一 委員会ハ鉄鋼兵器(海上特攻兵器以外海上ニシテ艦艇ヲ除ク)及航空兵器ヲ一括シ取扱ヒ廢兵器ノ内務省ヨリノ受領、破碎、輸送、保管、解体済資材ノ処分ノ実務ヲ行フモノトシ其運用ニ當リテハ委員会ハ主トシテ計画及統制ニ當リ実行ハ代行機関ヲシテ行ハシムルモノトスルコト

一 鉄鋼兵器及航空兵器ニ付支那地域ヲ分々担保ノ代行看ヲ定ムルコト

一 右委員会ニ事務局ヲ附置セシムルコト

一 解体兵器ノ業者ヨリ右委員会ハ代行機関ノ選任及業務ノ執行等ニ付シテハ下記ノ事項トスルコト

- 一 解体済資材ノ配分ニ付テハ需要者ヨリ成ル特殊委員会ヲ設置シ政府監督ノ下ニ処分ヲ決定セシムルコト
- 一 本件処理ニ関スル處理機關ノ收支ニ關シテ計算トシ政府ニ於テ之ヲ監督スルコト
- 一 處理機關ノ事業經費及損失ノ補償ニ關シテ政府ニ於テ豫算的措置ヲ講スルコト
- 一 解体兵器ノ破碎等ニ關シテ處理機關ノ於テ適當ノ想ヒル場合軍作業廳ニ屬回收会社等ヲ利用スルヲ得シムルコト

備考

内務省ヨリ本處理機關ニ付シテ下記ノ兵器ノ範圍ニ解体ヲ要スル廢兵器ナシ其ノ具體的內容ハ別途ニ定ムルモノトス

実行機関担任地域別一覽表

地域	鉄鋼	非鉄金属	摘要	連絡先
北海道	製鉄 日本	電気 古河		室蘭市製鉄所 所長 水谷清造 経理部長 小野清造
関東	製鉄 日本 鋼管 日本	電気 古河 金属 友友	古河電気 千葉製鉄所 津茅三海軍 航空機隊 設廠主任 友友 属担任人	日本橋区室町一丁目 三越三階 鉄鋼統制会 事務局長 藤沢勇次
東北	製鉄 日本	電気 古河	八雲管区 千歳製鉄所 東北製鉄所 所長 藤沢勇次	金石市 鉄管製鉄所 所長 中津川 事務局長 加藤友次
信越	鋼管 日本	電気 古河		新潟市 新潟電氣製鉄所 名古屋港區 熱田製鉄所 住友金属 津島製鉄所 刑部 山本治郎
東海	鋼管 日本	金属 住友		高岡市 新澤三井製鉄所 木曾町 富田製鉄所
北陸	鋼管 日本	金属 住友		大坂市南區 心齋橋製鉄所 住友金属 津島製鉄所 原田 藤川 製鉄所
近畿	製鉄 日本	金属 住友		右 全山
四國	製鉄 日本	金属 住友		
中国	製鉄 日本	製鋼 神戸		下関市 長瀬製鉄所 所長 坂口 重成 事務局長 相井 武史
九州	製鉄 日本	製鋼 神戸		八幡製鉄所 所長 須田 博道 葉山製鉄所 所長 荒井 幸雄

中央連絡先 東京都日本橋区室町三越三階鉄鋼統制会内

兵器処理委員会事務局長 藤沢勇次

日鉄 竹下大佐

兵器處理委員會運籌要略

昭三〇、一一、二九

一 兵器處理委員會 於受領スルキ廢兵器等ニ付之等ノ  
機密却品、無効明、雜費處合其、他解体資材、配分ヲ決定  
セシムル旨兵器處理特別委員會ヲ設置スルコト  
二 兵器處理委員會 構成ハ左ノ通トスルコト

委員長  
委員

兵器處理委員會委員長

兵器處理委員會委員

兵器處理委員會委員長(幹事)

内務省調查部業務第二課長(幹事)

運輸省鐵道總局資材局總務課長

同 海運總局船舶局資材課長

通信總局電報局資材課長

農林省林務局林務課長

陸軍省軍務局軍務課長

海軍省軍務局軍務課長

商工省總務局調査課長

同 工務局工政課長

一 五三ノ各以下ノ地方ニテ処理シテ可

。 母ニ米ニルモノ之、地方局卸放掃トシテハ  
現在母カテトヤハル



高工省鑛山局非鐵金屬課長

同 同 鐵鋼課長

同 總務局整備課長(幹事)

三兵器處理特別委員會ニ於テ處理スベキ事項ハ左ノ通りシムコト

一兵器解体ニ際シ豫メ留保スルヲ要スルキ資材ノ決定

二兵器及部品等ノ取扱用ノ決定

三屑ノ處分ノ決定

四現場ニ於テハ緊急處分ノ承認

五其他解体資材ノ処分ニ関シ必要ナル事項

四本委員會ノ處理スベキ事項中事務ノ重大ナルザルモ及急ヲ要ス

ルモノニ付テハ幹事タル委員ノ協議ニ依リ處理スルコトヲ得シムルコト

五各省關係官ノ統制團體等ヲシテ必要ニ應ジ本委員會ニ出席

スルヲ得シムルコト

六本委員會ニ關スル庶務ハ兵器處理委員會事務局ヲシテ行ハ

シムルコト

備考

(一)本件既分ニ關スル方針ニ付テハ昭和二十一年十月十九日附「特殊

物件處分大綱」及一九四五年十月十六日附「聯合國最高司令官ヨ

リ日本帝國政府ニ對シテ發遣」聯合軍ヨリ日本帝國政府ニ引渡

サルモノノ資材補給品及整備品ノ件ニ依ル

(二)現場作業ノ南島上急速處分セシメ 後特別委員會ノ承認

ヲ受ケシムルモノトス

但シ此ノ場合實行機關ハ事前ニ各地方廳ニ於テハ調査部門

係事務取扱機構ノ承認ヲ受ケルヲ要ス

兵器處理委員會機構

兵器處理委員會

委員長 小松隆

鐵鋼部會

部會長 小松隆

日鉄委員 森田惠三郎  
 同代理 木下晴吉  
 同 村田 巖  
 同 望月幸吉  
 鋼管委員 渡辺政人  
 同代理 黛 處造  
 同 植田久生  
 同 菊地義代松

非鐵金屬部會

部會長 中山良雄

古河電機委員 中山良雄  
 同代理 上田祐康  
 同 加藤三四郎  
 非鐵金屬委員 佐伯正芳  
 同代理 中山 勲造  
 同 川村 義雄  
 同 坂江 重賢  
 神戶製鋼所委員 田中 富房  
 同代理 梅本 直美  
 同 田廣 五郎  
 同 高畑 耕一

兵發中十八号

昭和二十一年十一月二十六日

兵務處理委員會事務局

局長 藤澤 豊次

殿

海軍艦艇本部兵務処送付機関

地籍別担保書等有二頁表、件

首題件、同三別紙通、調表御送付申上儀内

御裁承相成度候

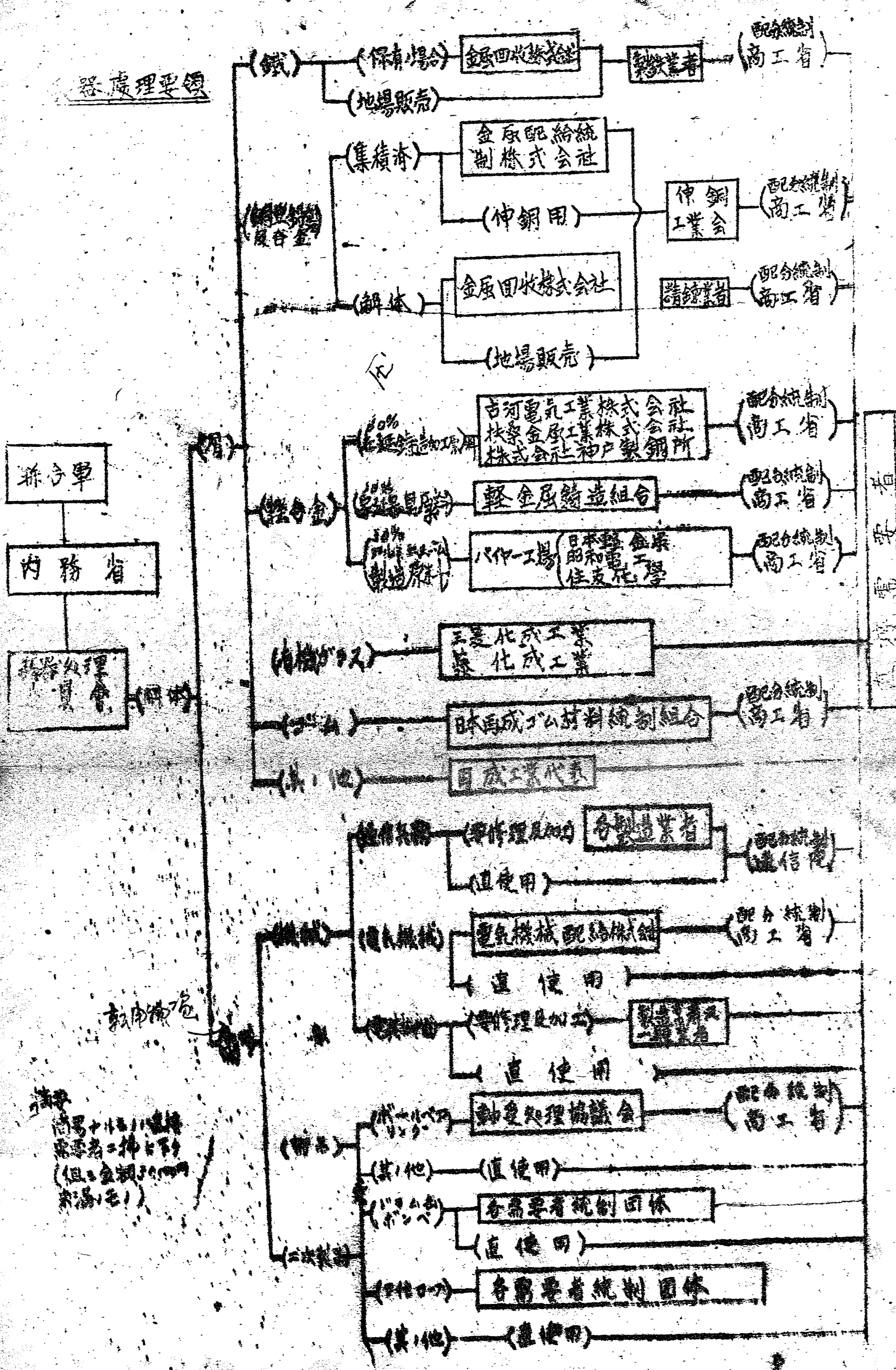
0034



海軍航空本部兵器處理實行機用地区別担任責任者一覽表

空廠別	所在地	担任地区	責任者
第一空廠	茨城縣杵臼郡 河原町	茨城縣上野郡 市川 市川 長野	大佐 上條源吉
第二空廠	千葉縣千葉市	千葉縣東神奈川 市川 長野	大佐 佐藤六郎
第三空廠 (陸軍工廠)	三重縣公家市	三重縣和歌山 中佐 藤咲重臣	
第十一空廠	愛知県加茂郡 履町	大阪府東淀川 和歌山 中佐 横山忠孝	
第十二空廠	廣西縣加茂郡 履町	高知縣高知 大佐 竹内雄二	
第十三空廠	大分縣大分市	大分	中佐 西中繁一
第十四空廠	長崎縣大村市	長崎縣佐賀 中佐 天野雄一	
第十五空廠	鹿児島縣 鹿屋市	鹿児島縣鹿屋 中佐 藤井賢男	
第十六空廠	東京都府中町	東京都石川 福井 大佐 福田道男	
第十七空廠	青森縣大津市	青森縣 北海道	大佐 野呂鉄丸
附屬	山形縣田新瀨	山形縣 大佐 野呂鉄丸	

器處理要領



内務省  
特殊処理委員会

高工省  
特殊処理委員会  
高工省  
特殊処理委員会  
高工省  
特殊処理委員会

ニ〇總務部一〇一九号

昭和二十年十一月十九日

商工省 總務局長  
内務省 調査部長

兵器處理委員會委員長殿

兵器處理委員會より  
標記、件名、南シ列紙寫、通地方長官宛通知致置候條  
御了知相成度候

二〇總發力一〇一九号  
昭和二十年十一月十九日

商工省總務局長  
由勢省調查部長

各地方長官殿

兵器處理委員會...受領セシムキ物件、範圍、件

聯合軍より交付セラルベキ解体兵器等、處理機構ニ關シテハ要ニ

十一月十日附總局力二八四号ヲ以テ通知致置候處右兵器處理委

員会(実行ハ担任五社)ヨリ受領セシムキ物件、範圍ニ付別紙一、

通決定相成候條可然措置相成度候

追而兵器處理委員會ニ於テハ作業所運営並ニ部門別担

當ニ付別紙ニ、通取極候趣ニ付御了知相成度参考迄送

付ニ及ビ候





- 三 前記一、及二、原則ニ拘ラズ本委員會ニ於テ受領スベキ兵器ノ集積個所ニ存在スル物件ニ付テハ一括シテ本委員會ニ於テ受領シ其ノ管理下ニ置カシムルモトス
- 四 彈藥ハ本委員會ニ於テ受領ス（空砲ノ之ハアリ）
- 五 聯合軍又ハ地方廳ヨリノ要求アル場合ハ前記諸項ニ拘ラズ之ヲ受領スルモトス

備考

- 一 本受領物件ノ範圍ニ付疑義ヲ生シタルトキハ地方廳ニ於ケル調査部關係事務取扱機構ノ責任者ニ於テ裁決スルモトス
- 二 地方ニ於ケル極々小口ノ兵器ニ付テハ地方廳ニ於テ便宜本委員會以外ノモラシテ取扱ハシムルコトアルモ妨ゲザルモトス

253 方針

別紙二

作業所運送部二部門別担当係取極

昭和二十年十一月十四日決定

一 作業所運送部

作業所ハ原則トシテ其他区担当。實行會社、直營又ハ其社指令ノ者ヲシテ請買セシムルコト

其細目ニ就テハ担当社ニ於テ計畫立案、上委員會ニ報告、事

二 部門別担当

- 原則トシテ左ノ通り定ム
- (1) 航空廠地ニ輕金屬部會ニ於テ担当、コト
- (2) 其他、兵器所在地ニ鐵鋼部會ニ於テ担当、事

(3) 各社、担当地区並ニ處理兵器處分ニ就テハ既定方針通りトスルコト

備考

- (1) 地区担当係ハ兩部門、内何レカ一社トナル
- (2) 局地的ニ例外扱等ヲ爲シ又ハ共同作業等ヲ事實上行ハントスルトキハ關係兩社間ニ於テ協議決定、事

兵器處理委員會ニテ受領スルモノ  
物件ニ範圍ニ關スル補足

一 通信機材

原文一、三、解釋ニテ通信機材ニ關シテ補足の詳解  
ヨク又

1. 移動兵器搭載ニシテ、及ビ右補給用ノモノ、其他兵器  
運搬用ノ想定ニ合致困難ナルモノハ兵器委員會報  
2. 通信機材ノ取扱ハ、兵器委員會報  
日範圍外ナリ

二 彈藥

原文四ニ於テ、彈藥ハ、本項條約即ニ彈藥條約ニ  
味ニ據テ、清國條約ハ、包含スルモノトス

兵器委員會報ニ於テ、本項條約ハ、兵器委員會報  
ハキモ、ナリモ作業、都合ニ本委員會報ノ規定ニ行  
各会社ニテ、實ニ、處理ノ依頼ナリル場合ハ、之ヲ  
處理スルコトヲ、妨ケズ、但シ、場合ハ、送還委員會  
業、作業ニ範圍外トス

又、火藥ハ、原文ニ於テ、ヨリ、當然受領、範圍外ナリ

三 追加事項

神社ニ於テ兵器ハ、本委員會報、受領、範圍外トス  
因ニ、右ノ一編回收物件トシテ、金屬回收會社之ヲ取扱フ

0042



三〇總務第二〇八号

昭和二十年十二月二十八日

各地方長官殿

高工省總務部長  
内務省調査部長

共済處理委員會より送附セラルル牛物件一

件範圍補足に關スル件一

聯合軍より交付セラルル牛物件五五五件付共済處理委員會より

受領スル牛物件一五五件付範圍ニ關スル件昭和二十年十一月十九日附

二〇總務第一〇一九号ヨリ通知致置候處爾後各關係部門ト

折衝の結果一部別紙ノ通リ補足致スルニ相成リタル件知相成度

0043

二〇號卷第...  
二〇號卷第...

昭和二十一年...

殿

高... 總務局長

内務省調査部長

兵器處理... 補足... 標記ノ件ニ関スル...

補足ニ関スル件

標記ノ件ニ関スル... 相成度

0044

二〇陸軍省二〇八號  
昭和二十一年十一月十八日

陸軍省建設局長  
陸軍省地務部長

各地方長官殿

陸軍省建設局長 陸軍省地務部長 陸軍省地務部長 陸軍省地務部長

聯合軍ヨリ交付セラレタルシムベキ物件ノ範圍ニ付テハ、陸軍省建設局長會ヲシテ受領セ  
シムベキ物件ノ範圍ニ付テハ、陸軍省建設局長會ヲシテ受領セ  
〇一九號ヲ以テ通知設置候處南今春南係部門ト接衝、結果一部  
別紙、通知補足致ス。ト相成リタルニ付、御了知相成度

二〇總發第一一〇八號  
昭和二十年十二月二十八日

商工省總務局長  
内務省調査部長

兵務處理委員會  
委員長殿

兵務處理委員會ヨリシテ受領セシムル物件ハ範圍補足ニ關スル件  
標記、件ニ由リ別紙寫、通地官長官宛通知敷置候條御了知相成度、  
別紙

兵務處理委員會ヨリシテ受領セシムル物件ハ範圍ニ關スル補足  
一 通信機械

原文一、了、解釋ニシキ通信段トモ通リ補足的諒略ヲナス  
機動兵器搭載、モ、及ビ右補給用、モ、其、他兵務處理物件ト  
混在ニ切離困難ナルモ、ハ委員會會核トス  
又通信機械、ニ取纏大集積濟、モ、ハ委員會、引取、範圍外トス

21

0046

二 傳書

原文曰「於此傳書トハ木填寫傳書ト傳書等美字ヲ意味

ニ傳書清澤傳書ハ之ニ合ハズルナリ

註

傳書清澤傳書ニ傳書等美字トハ今傳書等美字トハ傳書等美字トハ

傳書等美字トハ傳書等美字トハ傳書等美字トハ傳書等美字トハ

傳書等美字トハ傳書等美字トハ傳書等美字トハ傳書等美字トハ

傳書等美字トハ傳書等美字トハ

(復領)

之大槩ニ原文ニ、今、傳書等美字トハ

追加事項

傳書等美字トハ傳書等美字トハ傳書等美字トハ傳書等美字トハ

傳書等美字トハ傳書等美字トハ傳書等美字トハ傳書等美字トハ

0047

二〇總發力一〇三五号

昭和二十年七月二十六日

各地方長官殿

商工省總務局長  
内務省調查部長

兵畧解体作業ニ要スル物資等ノ斡旋ニ關スル件  
標記件一南三ハ表二二〇總發力一〇一九号ヲ通知致置  
候處兵畧解体作業ハ聯合軍ノ要請ニテ早急ニ要ス  
ルニテ甚ク困難ナル作業ニ付當該作業擔當者ハ兵  
畧解体作業ノ對シテ右作業ニ必要ナル地下近接軍手  
作業衣食糧自動車燃料揮發油潤滑油等ノ資材  
配給斡旋ヲ待テ配意如クス  
尚三河隨ニハ津路輸送等ニ付テモ併テ待配意  
相成ル此致又依類候也

0048



商工省整理部長  
内務省調査部長

兵器處理委員會委員長殿  
各地方長官殿

兵器處分ニ関スル件

聯合軍ヨリ返還セラルル兵器ニ関シテハ二〇總案第一〇一九号

(二〇、二一、一九附)ヲ以テ通牒セル範圍ニ属スルモノハ自今兵器處理委員  
會ニテ受領處理スベキモノニシテ同委員會ニ當該物件受領ノ上ハ其終  
極活用或ハ解体ノ上最有効ニ処分シ居ル地方ニ於テ往々委員會  
以外機關ニ之ヲ引渡シ或ハ處理セシメ居ル場合モアルヤニ反聞サレハ  
當出條ニ於テハ縣下ノ返還兵器ヲ豊田砂鉄社ニ於テ溶解セシメタル等ノ事  
例(一)右州縣格付ノ松製作所ニ在リ兵器類ヲ溶解所ニ送付シテ溶解  
セシメタル等ノ事例ナリ何レの場合ニ於テ鋼鉄類ニ於テ溶解所  
購辦シ其溶解所等ニ流入シ居ルモノ得ル場合  
テハ國家資源ノ多大ノ消耗ト可謂フナラズ上述兵器ノ一掃兵器處理委員  
會ニテ處理活用スルトノ建前ニ悖ル事ト可相成ニ付今後ハ斯レ事例ノ發生  
セザル様管下指導ヲ相煩度  
場合依リテ聯合軍ニヨリ斯ル處理ヲ強制セラレ、如キ事アルハキモ積  
極的ニ接衝事情説明ノ上熔解、破壊或ハ焼却処分ヲ兵器處  
理委員會ノ處理ニ任セ貫テ如ク斡旋相煩度  
尚聯合軍中央ニ於テハ本條ニ關シテハ極テ好意ノ態度ニテ積極的接  
助ヲ爲シ居リ例ハ過般ハ情報製作所ニ於テ現地軍ニヨリ熔解作業  
ヲ強請セシメタル場合、如キハ其報告ニ接シタルヲ以テ直ニ聯合軍  
中央ニ依頼シ現地命令ヲ解除シ其具ヒタル事例アルニ付現地折衝  
ニ併セテ當方ニ速報方ヲ取計相煩度



或ハ兵器処理委員会ニ於テ充分連絡ニ得ザリシ場合アリテ其ノ点  
深ク遺憾トスルモ然ル場合ハ兵器処理委員会ニ電報等ヲ以テ  
御照会相成ルヤキ充分御取極メ度

右依頼ス

追テ豊國砂鉄小松製作所ノ奉例ノ如キ処理ヲナセル場合ノ貴  
用ニ関シテハ兵器処理委員会ハ周知セズ当後存縣進駐費ヲ  
以テ処理セラルベキモノナルニ付為念

0051





三〇年一月二十日

内務省 警務部長

殿

兵器處理委員會、推進官成並  
經費三閱スル件

聯合會等より送達セラル、特殊事件兵器等、處理に關シ、其、特殊  
性ニ鑑ミ、民力化運送等ヲリ、之、促進、爲、特殊事件處理委員  
會ニ於テ、兵器等、處理機構ニ關シ、件「三〇一〇一〇」決定ニ據テ、  
ナレ、民間業者ヲ選定シ、之、事、ニ、委託、爲、運送、等、事、件、ニ、關シ、  
最近ニ到リ、同、事、件、ニ、關シ、ハ、地方、機構、機關、等、下、運送、ニ、關シ、  
開始、シ、テ、兵器等、處理、委員會、等、聯合、會、等、ニ、委託、爲、運送、  
等、事、件、官、廳、等、力、ヲ、付、シ、テ、之、事、件、ニ、關シ、同、事、件、會  
ノ、業務、ヲ、行、ハ、シ、テ、之、事、件、ニ、關シ、同、事、件、會、等、  
及、同、事、件、會、等、ノ、業務、ヲ、行、ハ、シ、テ、之、事、件、ニ、關シ、  
ル、事、件、ニ、關シ、各、地方、機構、等、ニ、委託、爲、運送、等、事、件、  
推進、的、ニ、推進、官、成、且、若、田、セ、シ、テ、廣、汎、多、岐、ニ、運、送、  
遺、憾、無、キ、期、ス、ル、也

尚兵器處理委員會ハ政府、代行機關トシテ、其、等、兵器等、武裝  
解除ニ關シ、如キ、業務、ヲ、担、當、ス、ル、事、ト、シ、テ、同、事、件、會、等、  
支、辨、ニ、就、テ、政府、ニ、於、テ、特、殊、的、的、措、置、ヲ、整、ニ、シ、テ、事、件、  
ニ、關シ、タル、其、財、政、上、右、措、置、ノ、實、行、ハ、至、難、ナル、理、由、ニ、鑑、ミ、  
ニ、依、ル、故、メ、以、テ、其、支、出、ヲ、特、殊、的、的、事、件、ニ、關シ、  
ニ、依、ル、故、メ、以、テ、其、支、出、ヲ、特、殊、的、的、事、件、ニ、關シ、

從...  
一九三〇...  
右...  
追而...  
決定方針...  
決定方針...  
決定方針...

0055

兵器處理委員會經費運用方針

第一 兵器處理方針

- 一 兵器處理委員會ハ、陸海軍第一〇一九号商工省總務局表内様式有調査部長連名通牒ハ兵器處理委員會ハ、重要事項ニハキ物件、範圍内ノ物件ニシテ廢兵器ノ解体作業及解体作業ニヨリ生ズル物件ノ處理ニ行フモノトシテ要スル經理ニ由リテハ本方針ニ依ル
- 二 解体スベキ廢兵器ハ内務省ヨリ兵器處理委員會ニ轉下ケルモノトス
- 三 委員會ガ政府ニ納入スベキ排渡價格ハ委員會ガ事務終了後計算決定スルモノトス

四 委員會ハ、經理ハ特別會計處理要綱ニ依ル

五 委員會ノ事業ハ第一項物件全般ニ處理シ其ノ經費ハ收入ノ範圍内トス

六 物件ノ價格ハ賣却物件ノ價格決定方針ニ依ル





兵器処理懇談會

日本軍兵器解体事業：自一月廿一日午後一時半ヨリ横浜山下町第一八軍経済科教室。於て米軍側等八軍経済部長バード大佐ヲ中心トシ、ウイ  
ンストン中佐、ディンコート少佐、グレイ大尉、グレイハム大尉、立会、下、兵器処理委員会  
委員長小松隆、事務局次長藤沢勇次、高工者事務局、女工者事務局、及び民間  
側委員トシテ日本製鉄、日本鋼管、古河電気工業、技研金属工業、神戸製  
鋼所各代表者ガ参集シ、隔意ナキ懇談ヲ遂ゲタガ委員長小松氏ヨリ次ノ  
諸点ニツキ其ノ要旨ヲ説明セリ、

- 一、兵器処理委員会組織機構
- 二、全委員会ノ受領スベキ物件ノ範圍
- 三、廢兵器解体計画並ニ解体施設、資材ノ廢棄及配給方法
- 四、同委員会設置ニ関スル方針
- 五、同委員会費却物件価格決定方針
- 六、兵器処理作業進行情況

右説明が終了後、ヤマト大佐ハヤツラ身ヲ對シテ同對シテ諸君ヲ呼ビ  
日本軍ヨリノ接收兵器ノ廢棄ニ關シ一般政策ヲ採用スル方針ヲ以テ出發シタ  
ガ兵器處理組織並ニ具體案ヲラドウスルノ種々苦慮シタ結果日本政府内務  
省ニ對シ特別組織體制ヲ依拠シ、ノゾクニ今日小松委員長ヨリ説明セラルコ  
組織機構諸君ガ其線ヲ沿ヒテ研究シ達成シタ結果、外ナライト思フ、ソレ  
テ茲ニ委員会組織編成モ既ニ完了シ且下其作業者々進捗中デアリカ  
レラノ準備ノ多ク實行ガ相違シテ居ルモノト思フ、然レモ兵器解体兵器一日モ  
早く迅速ニ処分シ日本産業會ノ基礎資源トシケレハラヌ、殊ニ屑鉄ハ少  
クモコ、一軍輸入ノ見込ハナク日本製鉄業ニ採ワテ最モ大切ナ資源源デア  
ル昨今日本ニ於ケル石炭生産状況ハ漸クモシテ上果實ヲ示ルツ、三月  
ニハ最低需要量月産百五十万噸ニ達從テ三月内各産業部門ニ出回ル  
豫定デアリス、現況デアリカ、當兵器處理委員会ガ知分ヲナス鉄鋼並  
輕金屬物件一般生活必需品ノ基礎ヲナス原料ナルヲ以テ折角有出炭率ガ向上  
レテ来テモコレ等ノ資源ガ欠乏シテ生産率ノ向上ヲ期シ得ナイトス、如キ事ガ  
アツテハナラズ必ス石炭ト同一歩調ヲヨリテ生産ヲ続ケ得ル様ニシナケレハ  
ナライ、自今今日迄石炭ト取組ンテ来タガ今後諸君ト共ニ廢兵器解体



ノ促進ニ御帳力致し度イト思フテ居ルソウシテアラユル努力ヲ惜マナイ積リ  
デアルカラ溢活ト思ハル、点改善ヲ要スベキ点等ハハシク申出デテ莫ヒ  
クイ出来ル限リ迅速ニ答申ニ解流ニキヌク積リデアルノデ諸君ニ於テ  
モ日本産業界ノタノメニ十分ノ努力ヲ切望スル次第デアル  
右訓示ニ對シ松澤委員長ヨリ今後当委員会ハ日本産業界、確実ト将来  
ノ發展ニ寄與スベク利害ヲ度外視シテ兵器処理運営ニ全カク傾倒スル決  
意ヲ破摺シ且ツ米軍ノ充テ御援助ヲ希望シ内會ス

附記

- 一 兵器処理委員会組織神稱
- 二 受領スベク物件ノ範圍





吳地方復員局第二號

昭和二十年十二月十二日

吳地方復員局長官

吳地方復員局物件讓渡審査委員會規程別紙ノ通定ム  
各部長一舊吳鎮守府各廳殘務整理首席ヲ含ムハ部分ヲ讓渡セル事需  
物件ニ就キ別紙様式ノ調査一品名、数量、見積價格、讓渡分、理由、其  
ノ他調査ト參考トナルベキ事項ヲ記載ス。七連ヲ於十二月二十日迄ニ提  
出スルト共ニ委員ノ調査ニ關シ便宜ヲ供與スベシ

終

0062

吳地方復員局物件讓渡審査委員會規定

第一條、吳地方復員局各部一、業務整理中ノ舊吳鎮守府各屬ヲ含ムニ於ケ

ル軍需物件施設ノ部外讓渡ニ關シ石ノ事項ヲ實施スル目的ヲ以テ物件讓

渡審査委員會ヲ設置ス

(イ) 既往讓渡資料ノ整理

(ロ) 既往ニ於ケル物件讓渡ノ適合檢討及其ノ調整

(ハ) 今後ニ於ケル物件讓渡ニ關スル審議

第二條、委員ヲ左ノ途指定ス

委員長 總務部長

委員 人事部長

同 經理部長

同 需品部長

同 管業部長

同 法務部長

同 總務部企劃課長

同 伊藤部員

同 神川部員

人事部目録部員

同

總務部松枝部員（幹事）

第三條 委員會ハ部長會報一連絡會報ニ引續キ行フヲ例トス

委員長必娶アル場合ハ隨時委員會ヲ助催スルコトヲ得

第四條 委員ハ部下職員ヲシテ委員會ノ事務ヲ掌理セシムルコトヲ得

第五條 委員會ニ於ケル審議事項ハ其ノ程度之ヲ定ム

（終）

0064